

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	内科系医療技術負荷度調査			
② 実施予定期間	2018年10月16日から2020年6月30日 (当院では倫理審査委員会承認後に開始します)			
③ 対象患者	④の対象期間中に当院に入院された患者さん			
④ 対象期間	2018年4月1日から2018年9月30日			
⑤ 研究機関の名称	別添参照			
⑥ 対象診療科	小児科			
⑦ 研究責任者	氏名	長谷川俊史	所属	小児科
⑧ 使用する情報等	入院および退院した患者さんのDPCデータを収集します。 DPCとは、Diagnosis Procedure Combinationの略であり、入院期間中に医療資源の投入量が最も多かった「傷病名」と、入院期間中に提供される手術、処置、化学療法などの「診療行為」の組み合わせによる患者さんの分類を指します。			
⑨ 研究の概要	<p>(背景) 医師の診療の負荷とは、医師の診療過程において当該医師に生じる、精神的な労力・大変さ、身体的な労力・大変さ、技術・技能的な大変さ、知識判断の労力・大変さ及び時間的拘束のことを言います。本研究の対象である内科系診療には、診療に係る時間の計測が容易ではないこと、また、診療の対象となる疾患・病態が広範にわたること等の特徴が存在します。これらに関して過去におこなわれた研究では、負荷度の推定は一部の疾患や診療行為に限られており、広く内科系全体の診療体系をカバーするような負荷度の評価体系は依然として確立していません。そのため、さらに広く内科系全体の診療体系をカバーするような内科系医師の診療過程の負荷が測定、体系化されることが必要と考えられます。</p> <p>(目的) 本研究では、急性期の入院患者を対象とした患者さんの分類システムであるDPC分類を活用し、内科系の全DPC分類(約1,800分類)を網羅する形で、体系的な負荷度の推定を行うことを目的としております。</p> <p>(方法) 使用情報として対象期間における入院および退院した患者さんのDPCデータを収集します。当該DPCデータから、事前に定めたアンケート対象疾患に該当する退院症例から無作為に小児科の症例を抽出し、当該退院患者さんの主治医に対し、負荷度についてのアンケート調査を行います。さらに、収集したデータを分析し、アンケート対象疾患以外の調査対</p>			

	象疾患に対する負荷度の予測モデルを統計的に構築します。予測モデルによって負荷度を予測した後は、当該予測値について調査委員会による討議を行い、臨床現場での実感に照らして、調整が必要である場合は調整を行い、最終的に全内科系疾患に対する負荷度を合議で決定します。患者さんの臨床データは、電子的なデータの状態で、内科系医療技術負荷度調査委員会（調査事務局）へ郵送されます。その際、特定の関係者以外がアクセスできないようにして利用します。		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年 3月 1日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	一般社団法人内科系学会社会保険連合に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	内科系学会社会保険連合活動費		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 小児科 担当者：安戸 裕貴		
	電話	0836-22-2258	FAX 0836-22-2257